

第1回 連絡会(1/5)・運営会(1/19)の報告

新年を迎え、会運営の若返りを目指して新しい組織による活動が始まりました。今回の改革では若い方々への急激な負担増を掛けることになり、人事の進め方など戸惑いの意見も多々ありましたが、今後、皆で無理のない運営方法への修正を図りながら全員参加による若返り体制を作り上げて行くことで、予定の「総会議案」、「(長)吟士権大会実施基本要項」の審議を終えることが出来ました。

(副会長 高橋賀秀正)



50周年記念特集

掲載に当たって

市丸賀秀知

今年は「長岡京吟詠会」設立50年の記念すべき年です。この機会に30周年記念誌からも引用し、『長岡京吟詠会』の歴史や詩吟にまつわるお話をシリーズでお送りします。これまでの吟詠会の歩み等につき思いを巡らして頂ければと思っております。

漢詩文化の流入と吟詠のあけぼの(1)

詩吟のもととなる漢詩は、中国・唐代に大成しました。七世紀、遣隋使、遣唐使らによって李白、杜甫、白居易などの名詩が日本に紹介され、前後して飛鳥時代には、日本独特の読み下しにして詠じる吟詠が誕生しました。なお「日本書紀」によると顕宗天皇の元年(485)、宮中で曲水の宴が催されたと記されており、すでにこの頃、漢詩としての型を成しつつあったと思われます。いずれにせよ漢詩は、官吏たちの個人的な趣味以上に中国との外交上、必要不可欠の教養として受け継がれていったのです。平安時代になると歴代天皇は、学問を奨励し、漢文をよくするものが重用されました。



王羲之 蘭亭序

故 千阪先生の旧著

漢土故事物語」を解説(14)「最終回」 「漢土故事物語」を書き終えて 小林賀清風

今般、本庄賀秀峰会長より、首題について書いてほしいとの要請に不才を顧みずお受けしましたが、大きなチャンスを与えていただき深く感謝いたしております。故千阪賀秀先生は、我々の賀堂流長岡京吟詠会を創設された先駆者であり、学識豊かにして、特に古典に意を注がれ私たちを指導されてまいりました。ある人は、古典とはたえず相貌をかえ続けるもので隆替し価値の創造が繰り返される、と言われ、また、夏目漱石は、詩の趣は王朝以後の伝習で、久しく日本化されて今日に至っており容易にこれを奪い去ることは出来ないと、述べている。漢文では訓点、書き下ろし文、押韻、起承転結が大切で、その醍醐味は、語句の意味、思索や叙情がわかり、言語文化が古典の新たな価値を発見し理解を深めることが可能で、昔の中国の出来事のもとで、言葉の持つ歴史、思考力、表現力が養われるのが最も勉強になりました。どうか今一度、この味わいを吟味し、自己の素養に役立たせてほしいと思います。一年以上にわたり掲載頂き本当にありがとうございました。最後に、長岡京吟詠会の更なる発展と、魅力ある「ぎんまい」への多くの投稿者を募り、増刊に期待をしております。



小林先生 長期の執筆ありがとうございました。
故事に込められた人生の心得を再確認させて頂きました。



長岡天満宮 菅公頌徳詩
千阪先生 作・揮毫



祝 ご結婚!!

このたび岡尾麻美子さんが、ご結婚され、和田姓になりました! おめでとうございます! 末永いお幸せと、詩舞・吟詠での益々のご活躍祈っております。(事務局)

他クラブも参加し 長天クラブ発表会実施

昨年12月5日に、初心者からベテランまで計9名が参加し発表審査会を実施されました。他クラブの先生にも講評やアドバイスを頂き、決意を新たにされたそうです。新年のご活躍期待しております。(事務局)

わかたけクラブの発表会

来る3月20日(日)10時~12時 西向日コミュニティーセンターで第3回成果発表会を開催します。都合の良い方は、是非応援にお出で下さい。(長尾賀秀剣)

「恩師 千阪先生を偲んで」古谷賀秀翔

「ふぐ鍋か、食うてあたらんか?」「あーうまい、うまい、うまいもんやなあ」忘年会に毎年ご招待してた時の先生のお言葉、シーズンになると懐かしく思い出します。

昭和64年平成に代わる時、奥伝の私は教室を持ちました。昭和をもじって、「翔和詩吟クラブ」が誕生。故桐山さんを筆頭に総勢18名の仲間と楽しい時を過ごしました。扇舞の方も美しくチャミングな佐藤先生を師に楽しいお稽古や発表会に励んだものでした。

「先生、先ず100才を目指してね」と約束したのも空しく天に召されました。元気だった40代の私も、杖をつく80代。すてきな先生方もつぎつぎ天に召されます。賀堂流も若い方達が育ち、ますます盛える事を願っています。

R4/2・3月の予定

赤字の主要行事に奮って参加
よろしくお祈りします

長岡天満宮の梅

長岡京吟詠会

2/ 2(水) 14:45	連絡会	公民館視聴覚室
2/ 6(日) 13:30	漢詩作詩研修会	公民館学習 2
2/ 9(水) 14:00	執行部会	公民館学習 1
2/16(水) 13:00	運営会	公民館視聴覚室
2/16(水) 14:45	連絡会	公民館視聴覚室
2/20(日) 13:00	定期発表会兼昇格予備審査	こらさ1階
2/27(日) 13:30	長岡京吟詠会総会	こらさ1階
3/ 2(水) 13:00	企画・研修部会	産文3階1会議室
3/ 2(水) 14:45	連絡会	産文3階1会議室
3/16(水) 13:00	運営会	公民館講座室
3/16(水) 14:45	連絡会	公民館講座室
3/27(日) 13:30	前期昇格審査会	公民館講座室

本部・総本部

3/13(日)	京都本部役員総会	産文3階1会議室
3/21(月)	賀堂流流碑祭/役員総会	姫路護国神社

府連・府総連

2/26(土)	府連役員総会	京都アスニー
3/ 6(日)	愛連フェスティバル	尼崎市総合文化センター
3/26(土)	府総連 審査員研修会	京都アスニー

～ 愛連フェスティバルのご案内 ～

愛国詩吟総連盟のコンクール上位入賞者の吟詠があります。折角の機会、聞きに行ってみませんか？

日時:3月6日(日) 場所:尼崎アルカイクホール
入場券の購入は、長尾先生まで(締め切り2月末日)

コンクールでの心がけ 横山賀秀邦

かなり昔の話で、審査員になりたての審査員研修会でのことです。モデル吟士も依頼され、「横山さんズボン穿いてきて」と言われて、その服装でモデル吟士を務めました。10名くらいの審査員が採点するのですが、各審査員が何点を付けたか分かる様に、黒板に名前と点数が表示されます。あまりに高い点数や低い点数の審査員には指導の先生が注意されます。それと私の場合、このモデルの服装は減点の対象となる事を指摘されました。今年度も間もなくコンクールが始まります。セーターやワンピース、男性のブレザー姿などは好ましくありません。上下揃いのスーツが一番です。前のボタンもきちんと留めます。審査員の前で吟を詠じて競う訳ですから、着物、カッターシャツ、ネクタイ等身嗜みもきちんとしましょう。

会員名簿について

今年度の会員名簿は、従来よりかなり簡素化したものを製作中です。賛助会員等の整理をして完成すれば、配布します。暫くお待ちください。(事務局)

老人会「やすらぎクラブ」長岡京女性部 での出前
新年会で詩舞を披露 中塚凱菖

昨年末、新年会で舞を見たいとのご要望を頂き、喜んでお引き受けし、1月21日「こらさ」での新年会で舞を披露しました。新型コロナの感染者が爆発的に増大する中、吟も尺八も駄目、出演予定者にも辞退者が出たりで、てんてこ舞いでした。

ナレーション：横山賀秀邦、舞：中塚凱菖、吟：高橋賀秀晶の録音テープ参加で 演じました。「常盤孤を抱くの因に題す」と「静御前」の二題を披露し皆さんに大変喜んでいただき、お礼まで頂きました。関係のみなさんのご協力に感謝すると共に、今はお約束が果たせホットしています。また、つくづく自分の齢を感じる1日でもありました。

シリーズ「吟道と剣道」 その24「最終回」
【理念の香り】 長尾賀秀剣

長岡京吟詠会の理念は「詩は心の花であり、吟は心の叫びである」(創設者 千阪賀秀)。

会員行動目標は「常に会員相互の和を大切にし、吟声を磨くと共に、地域に吟詠の文化を拡げることその使命とする」(和・磨・拡)。そして、吟じる時は、賀堂流吟則の精神を大切に心がける。

剣道の理念は、「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」(全日本剣道連盟)。

吟道と剣道の昇格や昇段、コンクールや試合等は、その時々での成長過程の節目の励みやステップとして、より質の高い内容を目指す動機としたいものです。コンクールや試合はお互いどこまで上達、成長したかを試し合う機会です。剣道では「打って反省、打たれて感謝」の精神を大切にしています。打ち勝っても反省することも多くあり、打たれて教えられ学ぶことが多々あるからです。こうして、お互いが成長し合うのです。こう言う相手がいることが有難いことで、お互い尊敬しあい礼に始まり礼に終わるのです。

吟道も剣道も奥が深く、生涯追究する道かもしれません。幾つになっても自分の伸びしろを探し信じて追究したいです。そして、それぞれの崇高な理念の香りがする吟や剣道を目指し稽古に励みたいです。

(今回で、このシリーズの最終回とさせていただきます。)



長尾先生 長期の連載ありがとうございました。剣道と吟道に通じる自己研鑽の大切さ興味深く拝読しました。加えて、この1年間は編集指導まで、大変お世話になりました。(事務局)

『ぎんまい長岡京』 編集室

チーフ	尻枝賀秀道
メンバー	市丸、櫻澤、西本、後藤、宮小路
※連絡先	尻枝賀秀道
	Tel: 075-954-9092

